

第37回早慶定期戦 早大20勝に

第三十七回早慶定期戦は十一月二十五日、早大地下道場で行われ、2勝1敗で早大が逆転勝ち、対戦成績を20勝17敗とした。第一戦のフルールで早大はいきなり三連敗、このハンデを最後まで取り返せずに完敗した。しかし続くエペ、サーブルは庄勝し一気に逆転、定期戦20勝一番乗りを果たした。

早大21勝1敗
〔フルール〕(早大7-1-9)
●鈴木 5-4 渡辺○
●安東 5-2 関口○
●帆刈 5-4 小川○
●寺田 4-5 加藤●
●安東 4-5 渡辺●
●鈴木 1-5 小川●
●寺田 5-4 関口○
●帆刈 3-5 加藤●
●安東 3-5 小川●
●寺田 5-3 渡辺○
●鈴木 3-5 加藤●

〔エペ〕(早大10-5)
○鈴木 2-5 関口●
○寺田 1-5 小川●
○黒田 3-5 加藤●
○安東 5-3 渡辺○
○寺田 2-5 関口●
○鈴木 0-5 加藤●
○安東 5-3 小川○
○黒田 5-1 渡辺○
○寺田 4-5 加藤●
○安東 5-4 関口○
○鈴木 1-5 渡辺○
○黒田 3-5 小川●
○寺田 5-5 加藤×
○福田 5-5 渡辺○
○黒田 3-5 関口○
○鈴木 4-5 小川●



●石坂 5-0 関口○
○寺田 4-5 小川●
●安東 5-3 加藤●
●石坂 5-4 渡辺○
●鈴木 5-4 関口○
○寺田 4-5 渡辺○
○安東 3-5 小川●

〔高校戦〕
●早大 1-4 慶大○
〔女子戦〕
●早大 1-2 慶大○
〔大学新人戦〕
○早大 4-0 慶大●
〔OB戦〕
▽フルール
●早大 1-2 慶大○
▽エペ
●早大 1-2 慶大○
▽サーブル
○早大 2-1 慶大●

学院新監督に森居会見



森居 章 会員

付属高等学院の監督が交代しました。成田電士監督(森村商事勤務)がブラジル転勤となったため、後任に森居章会員(四十六年度、山上新日本汽船勤務)が推されました。

森居新監督は学院一政経のエリートコースを歩み、現役時代は関東学生、全日本学生とともにサーブル個人

六位に入賞するなど、トップクラスの選手として活躍。現在は月曜日のレギュラーメンバーとして元気なころを見えています。フェンシングに対する情熱と後輩を想う心は今も盛んで、心よく監督を引き受けてくれました。温厚な人柄とシャイプな感覚は、きっと学院生たちの心を捕え、よき指導者として学院フェンシング部を隆盛に導いてくれることとします。

森居新監督の話
突然のことなので、まだ

- 早慶戦 37年の歩み
- ①○早一慶●(23年)
 - ②○早一慶●(24年)
 - ③●早一慶○(25年)
 - ④●早一慶○(26年)
 - ⑤●早一慶○(27年)
 - ⑥○早一慶●(28年)
 - ⑦●早一慶○(29年)
 - ⑧○早一慶●(30年)
 - ⑨○早一慶●(31年)
 - ⑩○早一慶●(32年)
 - ⑪●早一慶○(33年)
 - ⑫●早一慶○(34年)
 - ⑬●早一慶○(35年)
 - ⑭●早一慶○(36年)
 - ⑮●早一慶○(37年)
 - ⑯●早一慶○(38年)
 - ⑰○早一慶●(39年)
 - ⑱○早一慶●(40年)
 - ⑲●早一慶○(41年)
 - ⑳●早一慶○(42年)
 - ㉑●早一慶○(43年)
 - ㉒●早一慶○(44年)
 - ㉓○早一慶●(45年)
 - ㉔○早一慶●(46年)
 - ㉕○早一慶●(47年)
 - ㉖○早一慶●(48年)
 - ㉗○早一慶●(49年)
 - ㉘○早一慶●(50年)
 - ㉙○早一慶●(51年)
 - ㉚○早一慶●(52年)
 - ㉛○早一慶●(53年)
 - ㉜○早一慶○(54年)
 - ㉝○早一慶○(55年)
 - ㉞○早一慶○(56年)
 - ㉟○早一慶○(57年)
 - ㊱○早一慶○(58年)
 - ㊲○早一慶○(59年)

特選第2号とちった柏市の佐々木剛君(右)と一役買った春日会員



何から手をつけて行けばいいのか、具体的なプランが頭に浮かんでいません。でも、引き受けたからには、私なりに、出来る範囲内で一杯やるっきゃないと思っています。今は本庄高等学院のフェンシング部も活発に活動しているの、指導している川名さんといろいろ教わり、また協力して

特選第二号は柏高・佐々木

特別選抜第二号は千葉・市立柏高校の佐々木剛君。同校社会科教師として五十八年に赴任した当会の春日電二会員(写真)が育て上げ、母校に送り込んでくれたものです。佐々木選手はインターハイのエペ個人準優勝でまず特別選抜入試の資格を得、続く団体(奈良)少年の部で優勝し勲章を増やしました。優秀な人材ということで、一部リーグ有力校から激しいスカウト合戦が展開されたのですが、本人の「春日先生の母校でフェンシングを続けたい」という希望で当校の特別選抜を選挙したものです。第一号

佐々木剛選手の話
憧れの早稲田に進学で、たこと感激しています。入ったからにはフェンシングで頑張るっきゃないというのが今の心境です。鈴先輩という良い目標がありますので、世界の檜舞台に飛躍できる選手になりたいと思います。よろしくご指導の程お願いします。

稲光会報

昭和60年 2月1日 発行
編集者 早稲田大学稲光会
発行者 北原 輝 久 宏
題字 滝野 浅 印刷(有)
印字 第9巻第12号

1ページ...40周年準備委員会発足
2、3ページ...10月10日パーティー
4ページ...スナップアルバム
第37回早慶定期戦詳報
特選第二号は市立柏高の佐々木君

鈴木世界ジュニア代表に！ 40周年準備委員会発足

稲光会は二年後の昭和六十一年に創立四十年を迎えます。当会では四十周年準備委員会(金子誠委員長)を発足させ、五十九年十二月十九日、高田牧舎にて第一回の会合を開きました。記念すべき年をいかに祝福するか、これからの会合を重ねてプランを練っていきまします。全国の会員の皆様、アイデアを募集していきます。委員(次項別表参照)にあてどしどしご意見、ご希望をお寄せください。

初の会合にもかかわらず、出席各委員から活発な意見が出されました。もちろんまだ決定事項ということではありませんが、参考までに列挙してみます。

- ①祝賀パーティーは恒例の十月十日(稲光会の日)に行う。
- ②午前の部は、その年の学連トップクラスの選手を招待し、本格的なトーナメント試合を行う。これによって、フェンシングから遠ざかった会員諸氏にも、現在の試合ぶりをご理解いただけるでしょう。
- ③部にビデオ装置つきテレビセットを贈る。
- ④第一号からの稲光会報を全てまとめて整本し、全員に贈る。
- ⑤以上の諸行事を実現させるため、四十周年予算として目標三百万円を会員諸氏からご寄付いただく。先づものはカネ、というわ

われわれの部も五年ぶりに一部へ復帰し、また学院、本庄学院の二付属校から続々と部員が入ってくる見通しとなるなど、明るい材料が一杯です。さらに大きく飛躍するためにも、四十周年記念祝典を華やかにやりたいというのが全委員の願い。どうぞ趣旨をご理解いただき、全幅のご協力をお願い致します。

ごあいさつ 会長 金子誠
三十周年のにぎやかなパーティーが行われたのが、ついこの間のことのように思われるのに、あれから早くも十年たとうとしていきます。月日のうつろいの早さ



鈴木選手

鈴木元宏選手の話
大学に進んで最初の目標である新人戦優勝と世界ジュニア出場の二つを共に実現でき、大変にラッキーだと思っています。来年はフルールで代表権を取るべく頑張りますので、これからよろしくお願致します。

に感じ入る間もなく、準備に追われそうです。お陰様で、当会および現役の活動状況は順調そのもの。部は五十九年度リーグ戦で五年ぶりに一部復帰を果たしました。また特別選抜入試制度で二年連続して優秀な人材が入り、部の強化に大きく貢献しております。また新設の本庄高等学院は六十年から大学に入ってきますが、毎年数人の入部が期待でき

鈴木世界ジュニア代表に

鈴木、早くも世界の檜舞台に飛び出す。わが部の特別選抜入学第一号として活躍が期待される一年部員鈴木元宏(岐阜県立大垣南高出身)が、四月十九日から二十三日までオランダのアムステルダムで開催される世界ジュニア選手権大会の日本代表の座を掴み取った。同大会国内予選は五十九年十二月二十一日、二十三日の三日間、埼玉・日大宮分校体育館で行われ、鈴木は初日のフルールで決勝プールに残ったが、惜しくも全敗。次にエペの部に出場、再び決勝プールに進出した。今度は代表権を狙って大健闘

苦難の道のりをようやく脱出し、一部リーグAクラス入りへ大きく飛躍しようという時代を迎えたわけです。そういう時の四十年だけに、記念式典はぜひ成功させたい、部活動の励みにしたい、と考えております。全国の会員諸氏のご協力があった初めて事が成るわけです。どうぞよろしくお願致します。

▼女子部員も少し増えています。四年生の三牧(左)と一年生の藤野部員



▲師弟交歓 うるわしい風景です。滝口先生(左)と戸谷部長

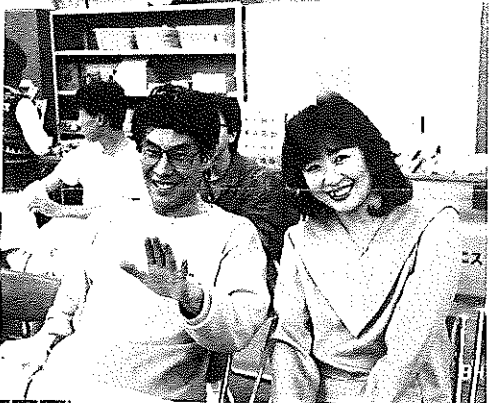
五十九年度稲光会の日(十月十日)は、予定通り母校新体育館地下一階フェンシング道場で華々しく開催されました。午前の部、会員相互による「滝口杯争奪戦」の熱戦、午後の部の懇親パーティー、オークションと例年通り行われ、現役との交流も深め有意義な一日でした。



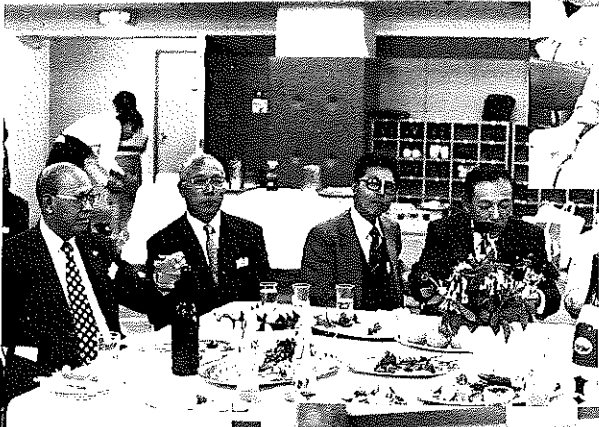
▲「荻野、よく食うなあ」と、堀会員(右)はあきれ顔



▶懐かしい顔がそろいました。左から坂本、梅溪、中村(寿)、潮田各会員



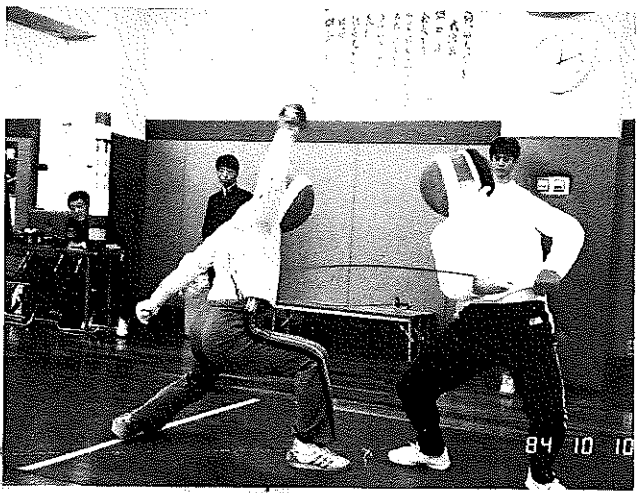
▲鬼野会員はフイアンを連れてはるるを古屋から駆けつけました(二人は十一月十八日、熱田神宮にて目出たく挙式)



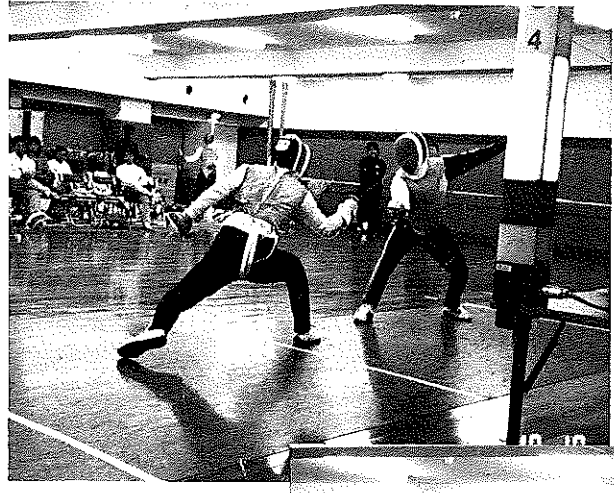
▶いつも仲間つまじい北嶋夫妻

●40周年準備委員会メンバー●

- ▽委員長 金子 誠 (稲光会長)
- ▽委員 荻野元平 (監督)
- 川名宏美 (講師)
- 成瀬正澄 (前監督)
- 北原輝久 (幹事長)
- 近藤征一郎 (36年度)
- 新井時男 (同)
- 橋本純樹 (40年度)
- 吉田友久 (同、会計担当)
- 中村立雄 (42年度)
- 丹羽晃一 (44年度)
- 森居 章 (46年度)
- 平野健一 (51年度)
- 宮 信雄 (52年度)
- 小幡 恵 (53年度)
- 春日竜二 (57年度)
- 川端宏行 (同)



▲荻野監督お得意の胸切りに、川名会員は思わずお手上げ



▶同期の春日(手前)川端両会員の因縁の対決、果して結着は？

▲橋本(左)吉田両会員、こちらも月曜会の因縁の対決です。



▶戦い済んで、滝口名誉会長から滝口杯の授与です。

▼荻野監督率いる現役たち。質も量もぐ〜んとアップ。



▶「本庄学院からの入部第一号になります」と川名会員から紹介される大藤君



▶どこにでもネアカ人間はいるものです。



▲佐藤さん、そういうことをしている場合じゃないんですよ？

●滝口杯成績●

▽フルール	紅	白
篠原 英彦 D1 V4	川端 宏行	
森居 章 D1 V3	北嶋 栄	
橋本 純樹 D1 V2	吉田 友久	
近藤征一郎 V0 D1	鈴木 元宏	
佐々木 剛 V3 D1	川名 宏美	
(特別選拔生)		
▽エベ		
森居 章 V4 D1	鈴木 元宏	
橋本 純樹 V2 D1	上原 栄	
丹羽 晃一 D5 V2	北嶋 朋近	
佐々木 剛 D1 V2	鬼頭 朋近	
▽サーブル		
春日 龍二 V4 D1	川端 宏行	
杉本 次郎 V3 D1	内田 真一	
内田 敏朗 D1 V1	宮 信雄	
近藤征一郎 D1 V4	吉田 友久	
荻野 元平 D1 V4	川名 宏美	